



NIPPON SAN SO HOLDINGS

2024年3月期 第3四半期 決算電話会議資料 (決算補足資料)

(2023年12月31日に終了した9か月間)

2024年2月2日
東京 (日本)

The Gas Professionals

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション」とは、本プレゼンテーションにおいて、日本酸素ホールディングス株式会社（以下、「日本酸素HD」）によって説明または配布された本書類、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘、または、いかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。また、これを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより、株式または有価証券の募集を公に行うものではありません。本プレゼンテーションは、投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく、情報提供のみを目的として、受領者に使用されるという条件の下で、受領者に対して提供される追加情報とともに提供されております。この制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券関連法規の違反となる可能性がございます。日本酸素HDが直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「日本酸素HD」という用語は、日本酸素HDおよびそのグループ会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。また、同様に「当社、当社グループ」という用語は、子会社全般またはそこで勤務するものを参照していることもありえます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることがあります。

・将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、日本酸素HDの理念または見解、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、見積もり、予測が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする」「計画する」「信じる」「望む」「継続する」「期待する」「めざす」「意図する」「確実にする」「だろう」「かもしれない」「すべきである」「であろう」「することができた」「予想される」「見込む」「予想する」などの意思や推量をあらわす用語もしくは同様の表現またはそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られません。これらの将来見通しに関する情報は、多くの重要な要因に関する前提や想定に基づいており、実績としてあらわれる業績では、将来見通し情報を通じて明示または暗示された将来の業績とは異なる可能性があります。その重要な要因には、国内外の一般的な経済条件を含む、当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の開発・出現、関連法規の変更、規制当局による判断とその時期、金利及び為替の変動、販売された製品または試験・候補製品の安全性または有効性に関するクレームまたは懸念等、新型コロナウイルス感染症のような健康危機が当社の事業を行う国・地域の政府を含む当社とその顧客および供給業者に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（Post Merger Integration:買収後統合）の時期及び影響、日本酸素HDの事業資産を売却する能力およびかかる資産売却のタイミング、当社のWebサイトにおいて閲覧可能な日本国の有価証券報告書関連法規に沿って提出された最新の年次有価証券報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。日本酸素HDは、関連法規や証券取引所の関連規制により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる情報または当社が提示するあらゆる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は、将来の経営結果の指針とはなりません。本プレゼンテーションにおける日本酸素HDの経営成績は、日本酸素HDの将来の経営成績またはその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証または見積もりではないことにご留意ください。

・国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標

本プレゼンテーションには、コア営業利益、有利子負債、純有利子負債、調整後ネットD/Eレシオ、フリー・キャッシュ・フロー、ROCE after Taxのように、IFRSに準拠しない財務指標（以下、「当社独自指標」）が含まれています。当社役員及び執行役員は、業績評価ならびに経営および投資判断をIFRSおよびIFRS以外の指標に基づき実施しています。当社独自指標においては、最も近いIFRS財務指標では含まれることとなる、または異なる数値となる一定の利益、費用およびキャッシュ・フロー項目を除外しております。当社独自指標を提供することで、当社役員及び執行役員は、投資家の皆さまに対して、当社の経営状況、主要な業績および動向のさらなる分析のための付加的な情報を提供したいと考えており、当社独自指標は、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません。投資家の皆さまにおかれましては、当社独自指標について、これらによく対応するIFRSに準拠した財務指標との照合を行っていただきますように、お願い申し上げます。

・財務情報

当社の財務情報は、国際会計基準（IFRS）に基づき作成しております。



注記

・経営成績の状況の分析（売上収益及びセグメント利益の増減要因）について

日本酸素HDの決算補足資料において、2022年3月期より、四半期連結会計期間単位における当社グループの経営成績の状況、並びに経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析内容を述べるため、連結累計期間単位での同内容は省略します。なお、セグメント利益はコア営業利益で表示しています。

・為替レートを適用した場合の売上収益並びに営業利益、及び為替変動による影響額の表示について

為替変動による影響額は、対象期間（当期及び前期）に当期の期中平均レートを適用して算出しております。これらの情報は、国際会計基準（IFRS）に準拠しているものではありませんが、これらの開示は、投資家の皆さまに日本酸素HDグループの事業概況をご理解いただくための有益な分析情報と考えています。

<為替レート>

期中平均レート

単位：円 通貨単位	2023年3月期				2024年3月期				2024年3月期	単位：十億円 通貨単位	（ご参考）為替感応度 目安 通貨単位別 1円当たりの円安影響額 （通期基準）	
	第1四半期累計 (4-6月)	第2四半期累計 (4-9月)	第3四半期累計 (4-12月)	通期累計 (4-3月)	第1四半期累計 (4-6月)	第2四半期累計 (4-9月)	第3四半期累計 (4-12月)	通期累計 (4-3月)	通期前提 (4-3月) <small>(2023年10月31日発表)</small>		売上収益	コア営業利益
USD 米ドル	131.25	135.30	136.85	136.00	139.63	142.61	143.78		142.61	USD 米ドル	+2.2	+0.28
EUR ユーロ	138.75	139.14	140.83	141.62	151.89	154.81	156.24		154.81	EUR ユーロ	+1.9	+0.25
SGD シンガポールドル	94.97	97.12	98.61	99.05	103.66	105.79	106.90		105.79			
AUD 豪ドル	92.52	93.51	93.16	92.67	91.94	93.44	94.47		93.44			
CNY 中国元	19.71	19.91	19.81	19.71	19.67	19.87	20.01		19.87			

・業績全般、及びセグメント業績の表示について

セグメント間については相殺消去後の数値であり、表示している金額には消費税等は含まれていません。
なお、2023年3月期 第3四半期より、報告セグメント名称を簡素化して表示していますが、セグメント集計範囲は変更ありません。

Contents

1. Strategic overview
2. 2024年3月期 第3四半期業績
 - 1. 第3四半期 期間業績
 - 2. 第3四半期 累積業績
3. 2024年3月期 通期業績予想

Appendix

1. Strategic overview

Key Highlights

- ✓ **収益性を高める**
- ✓ **価格マネジメントを徹底する**
- ✓ **エレクトロニクス関連商機を確実に捉える**
- ✓ **他では真似のできない領域を開拓する**
- ✓ **より顧客との接点を大切にし、ソリューションを提供する**

当社グループ中期経営計画:

NS Vision 2026 | Enabling the Future

グループ理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

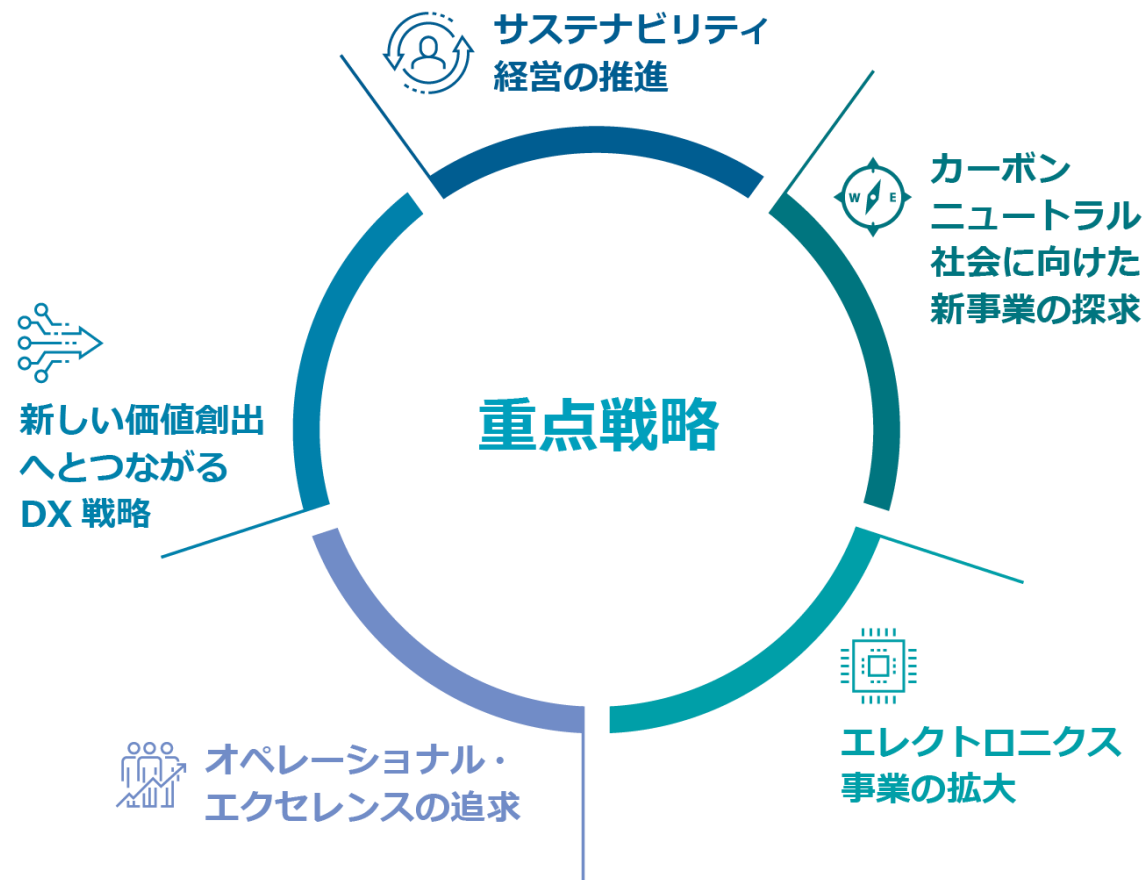
Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.

The Gas Professionals

グループビジョン

**私たちは、革新的なガスソリューションにより
社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、
人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。**

We aim to create social value through innovative gas solutions that increase industrial productivity, enhance human well-being and contribute to a more sustainable future.

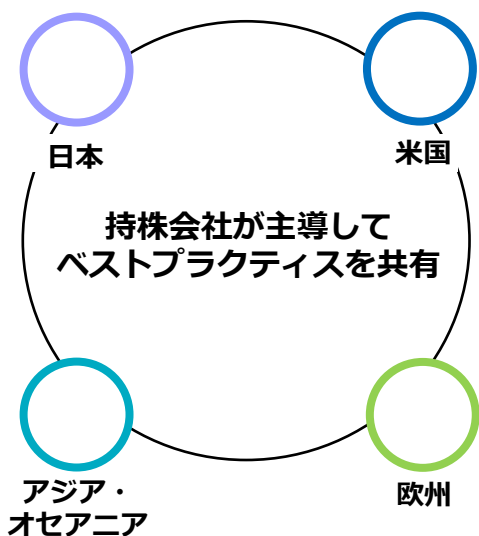


グループ総合力の発揮：オペレーショナル・エクセレンスの追求

2020年10月に移行した持株会社体制で3年余りが経過し、現在では地域間連携が進み、着実に成果に繋がっています。

持株会社体制のねらい

- ① 権限委譲による意思決定スピードの向上と適切な経営資源の配分
- ② 事業執行責任、実績の明確化
- ③ 各地域の強みや優位点を共有展開したグループ総合力の強化



地域ごとの商慣習や事業運営の違いはあるが基本的な事業構造は同様で、水平展開を企図

産業ガス事業

地域間	主な特徴
共通項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提供価値：安定供給と盤石な供給網（ガスを切らさない） ・ 地産地消：消費地立地の事業 ・ 製品特性：差異化が難しく顧客との関係と技術・対応力が重要 ・ 供給形態：オンサイト・バルク・パッケージの3分類 ・ 原価構成：主に電力費（ガス生産コスト）と物流費の比重大
特有項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業構成：売上の製品別・産業別構成比 ・ 事業環境：マーケットの伸びしろ ・ 販売戦略：顧客との関係性（歴史的な背景、立場等） ・ 事業密度：展開地域における供給ネットワークの密度 ・ 取引慣行：契約に対する考え方等

日本事業の収益性向上：オペレーショナル・エクセレンスの成果

「さらなる成長」「顧客への提供価値向上」「価格マネジメントの実効性向上」を進め、持続的に利益成長できるように、顧客への貢献価値の最大化にこだわっていきます。

日本事業
(大陽日酸) グループビジョン

The Gas Professionalsとして、産業ガスを起点に、
ガスの持つpotentialを最大限に発揮し、
あらゆる産業の発展と社会課題の解決に貢献する企業であり続けます。



日本

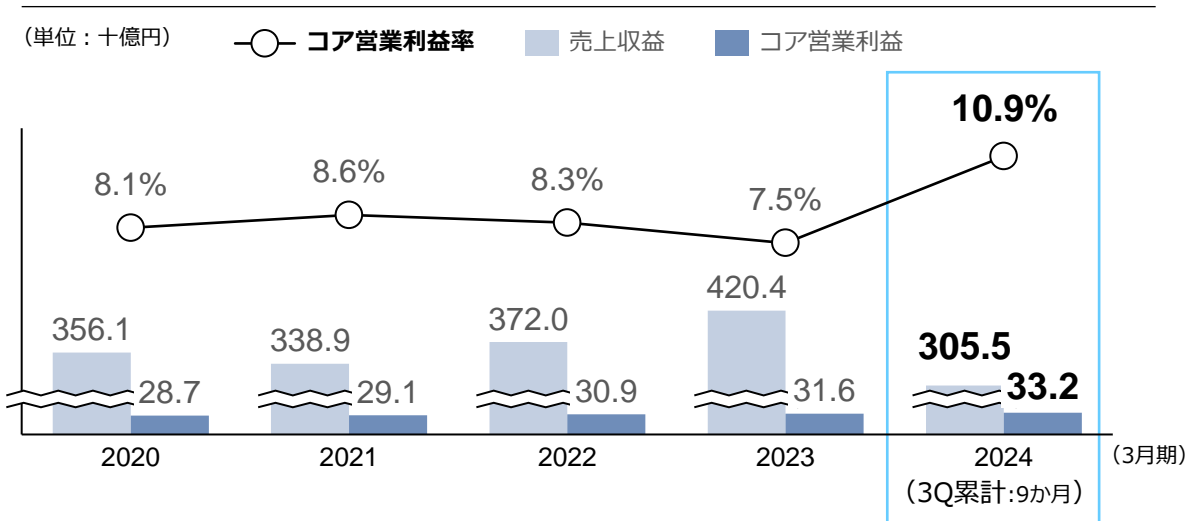


米国



欧州

日本事業の業績推移



2023年1月に、価格活動（プライシングアクション）をテーマとしたグローバル4極で会議を開催し、下記項目を共有しました。

- ・各地域のコスト状況
- ・商習慣（取引慣行）
- ・価格に対する考え方
- ・価格設定の方針

日本の安定同位体事業：レジリエントマーケットでの成長をめざす

レジリエントなヘルスケア事業領域で、酸素の安定同位体**Water-¹⁸O**の需要拡大に期待しています。2004年に世界初の極低温蒸留技術で生産を開始。グローバルに展開し、ニッチトップの地位を築いています*1。主にPET診断*2薬の原料として用いられ、新用途でのさらなる成長を見込みます。

世界最大の酸素同位体メーカー：大陽日酸

年産**600kg**以上の生産能力で、
グローバルに**40**超の国と地域に向けて出荷



1号機（千葉県五井市）



2号機（千葉県袖ヶ浦市）



3号機（山口県周南市）

・安定同位体事業の沿革

1986年	安定同位体事業を創業（旧 日本酸素）
2004年	独自の極低温蒸留技術でWater- ¹⁸ Oの生産を開始（世界初）
2019年	日本国内で初めてWater- ¹⁷ O（用途： <u>¹⁷O-MRI検査法</u> ）の製造に成功



充填作業の様子

製品容器

*1 当社調べ（生産量及び出荷数量ベース）。なお、グローバルでのマーケット規模は当社推定で約60億円。

*2 PET診断:Positron Emission Tomographyの略。日本語呼称では、陽電子放射断層撮影診断。

人々の健康に貢献：PET診断薬の原料 Water-¹⁸Oの安定供給を通じて

¹⁸F-FDG* PET診断（検査）は、陽電子を放出する放射性同位体で標識した試薬を生体に投与して、放射能の分布や時間経過を体外から専用カメラで撮影する検査です。これまで、主に悪性腫瘍（がん）向けに行われてきましたが、アルツハイマー型認知症の診断（アミロイドPET検査）や心疾患にも用途が広がりつつあります。

PET診断

画像診断の一種。
放射性診断薬を体内に投与して、
画像化し、分析・診断。

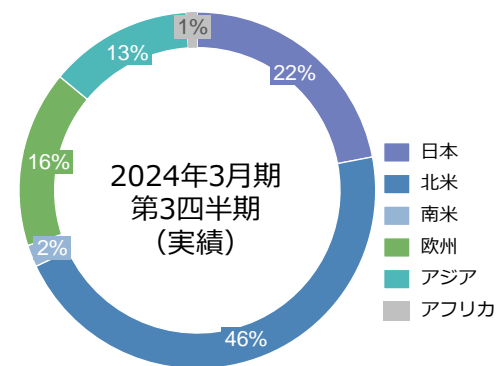
- 診断対象
- ・悪性腫瘍（がん）
 - ・アルツハイマー型認知症
 - ・心疾患

**診断薬
¹⁸F-FDG*
製造方法**

- ① 酸素同位体¹⁸Oに水素H₂を添加して製造された**Water-¹⁸O**（原料）を核反応させて¹⁸F（フッ素18：放射性同位体）を生成
- ② その後、合成し、標識した試薬を体内に投与

販売実績

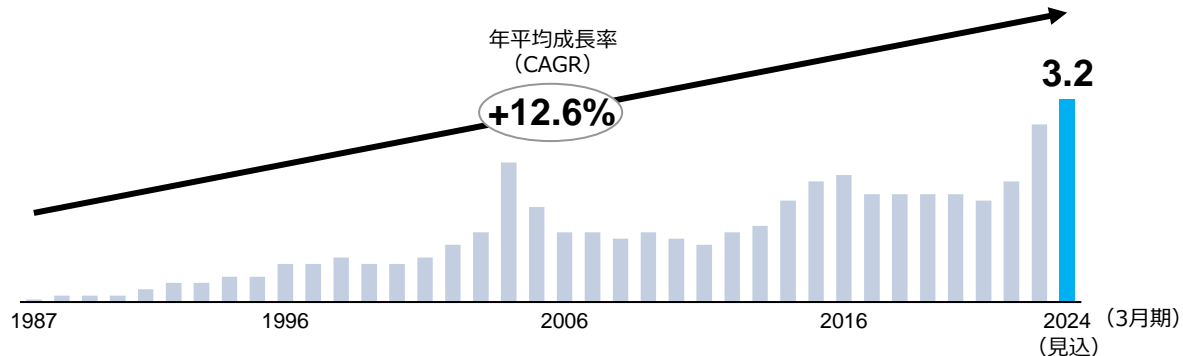
世界市場シェア
40%以上（当社推定）
シェア No.1



安定同位体事業全体の売上推移



（単位：十億円）



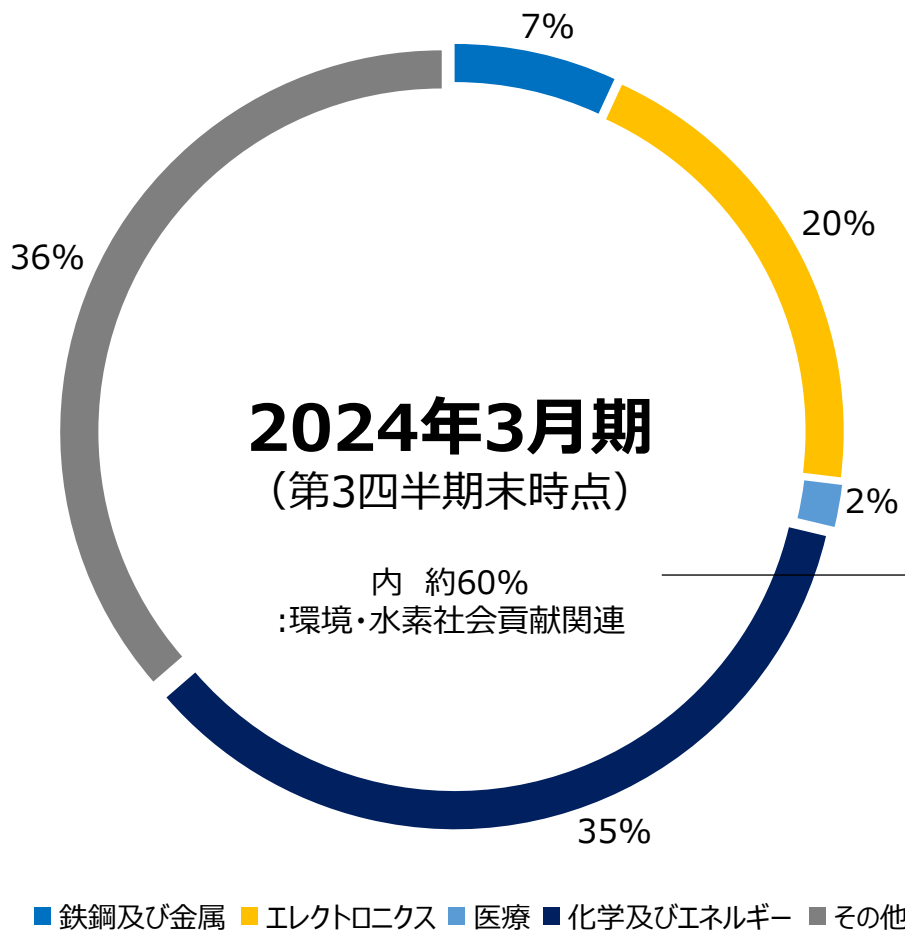
* 診断薬¹⁸F-FDG：フルオロデオキシグルコースというブドウ糖に良く似た薬で、ブドウ糖代謝の指標として用いられる

持続的成長を支える重要な設備投資

NS Vision 2026に基づき、グローバルで多くの成長機会を追求し、多彩な資本ポートフォリオを構築しています。

「その他」には、多種多様な顧客に供給するガスに関連する設備のため、顧客種別で分類することが難しい案件が含まれています。

- (例) ・バルク事業向け生産基地の新設・増設
- ・液化ヘリウムの輸送コンテナ



「環境・水素社会貢献関連」には、自社及び顧客のカーボンニュートラルに向けた活動に寄与する案件が含まれています。

- (例) ・既存プラントの最新鋭装置への更新
- ・水素製造関連 (HyCOプラント、グリーン水素JV設立)

なお、上記集計範囲は、当社グループ各社の取締役会が承認した未完成の投資案件であり、各案件の規模は約5億円以上、4百万米ドル以上、4百万ユーロ以上です。

2. 2024年3月期 第3四半期業績

-1. 第3四半期 期間業績

業績概要

	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
(単位：十億円)					
売上収益	299.3	316.0	+16.7	+5.6%	+1.3%
コア営業利益	31.3	43.0	+11.7	+37.3%	+30.3%
コア営業利益率	10.5%	13.6%			
非経常項目	-0.8	-0.4	+0.4		
営業利益 (IFRS)	30.5	42.6	+12.1	+39.6%	
営業利益率	10.2%	13.5%			
EBITDAマージン	19.4%	22.5%			
金融損益	-5.4	-5.9	-0.5		
税引前四半期利益	25.1	36.6	+11.5	+46.1%	
法人所得税	7.1	11.0	+3.9		
四半期利益	17.9	25.6	+7.7	+42.4%	
(四半期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17.2	24.8	+7.6	+44.0%	
四半期利益率	5.8%	7.9%			
非支配持分に帰属する四半期利益	0.7	0.7	+0.0		



日本

(単位：十億円)	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
売上収益	106.1	103.3	-2.8	-2.6%	-2.7%
セグメント利益	7.4	11.9	+4.5	+60.9%	+60.4%
セグメント利益率	7.0%	11.5%			
EBITDAマージン	11.5%	15.9%			

前年同期比の増減要因、その他のコメント

- ・ 主力製品であるセパレートガス、及びLPガスの出荷数量は減少
- ・ コスト上昇を背景とした販売価格の改定
- ・ 電子材料ガスのお荷数量は軟調
- ・ 機器・工事は、産業ガス関連・エレクトロニクス関連ともに順調
- ・ 特定顧客向けにオンサイト供給を担う子会社のジョイント・オペレーション化による影響で減収(2024年3月期 第1四半期末より)

米国

(単位：十億円)	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
売上収益	77.6	87.6	+10.0	+12.9%	+8.1%
セグメント利益	10.0	12.4	+2.4	+24.0%	+18.3%
セグメント利益率	12.9%	14.2%			
EBITDAマージン	26.2%	26.7%			

前年同期比の増減要因、その他のコメント

- ・ 主力製品であるセパレートガスの出荷数量は前期並み
- ・ 販売価格の改定及び生産性向上プログラムの取組み
- ・ 機器・工事は、産業ガス関連（ハードグッズ：溶接・溶断関連）で減収

欧州

(単位：十億円)	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
売上収益	66.9	75.7	+8.8	+13.1%	+2.7%
セグメント利益	9.4	13.2	+3.8	+39.9%	+26.1%
セグメント利益率	14.2%	17.5%			
EBITDAマージン	27.4%	30.3%			

前年同期比の増減要因、その他のコメント

- ・ 主力製品であるセパレートガスの出荷数量は増加
- ・ 販売価格の改定に加え、生産性向上プログラム及び原価低減の取組み
- ・ 機器・工事は、ガス関連機器及び医療関連機器の販売が好調



アジア・オセアニア

(単位：十億円)	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
売上収益	41.0	41.3	+0.3	+0.8%	-4.0%
セグメント利益	3.3	4.0	+0.7	+21.2%	+16.0%
セグメント利益率	8.2%	9.9%			
EBITDAマージン	14.1%	16.3%			

前年同期比の増減要因、その他のコメント

- ・ 主力製品であるセパレートガスの出荷数量は微減
- ・ コスト上昇等を背景とした販売価格の改定
- ・ 豪州地域での販売が多くを占めるLPガスでは、販売数量は減少
- ・ 電子材料ガスの出荷は軟調

サーモス

(単位：十億円)	2023年3月期 第3四半期 (10-12月期)	2024年3月期 第3四半期 (10-12月期)	前年同期比		為替影響除き 増減率
			増減額	増減率	
売上収益	7.4	7.8	+0.4	+4.8%	+3.7%
セグメント利益	1.1	1.4	+0.3	+26.0%	+23.1%
セグメント利益率	15.6%	18.8%			
EBITDAマージン	20.7%	23.8%			

前年同期比の増減要因、その他のコメント

- ・ 日本：ケータイマグの販売が好調
- ・ 海外：韓国販社及びアジア域内の生産工場では堅調だが、持分法適用会社の販売は軟調
- ・ 主に円安による製造コストの増加

2. 2024年3月期 第3四半期業績

-2. 第3四半期 累積業績

業績概要

	2023年3月期 第3四半期 (4-12月期)		2024年3月期 第3四半期 (4-12月期)		前年同期比		為替影響除き 増減率
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	
(単位：十億円)							
売上収益	873.0		928.6		+55.6	+6.4%	+1.9%
コア営業利益	87.5		124.7		+37.2	+42.5%	+35.1%
コア営業利益率	10.0%		13.4%				
非経常項目	-3.1		-0.5		+2.6		
営業利益 (IFRS)	84.3		124.2		+39.9	+47.2%	
営業利益率	9.7%		13.4%				
EBITDAマージン	19.1%		22.4%				
金融損益	-9.6		-15.9		-6.3		
税引前四半期利益	74.7		108.2		+33.5	+44.8%	
法人所得税	20.3		32.1		+11.8		
四半期利益	54.4		76.0		+21.6	+39.8%	
(四半期利益の帰属)							
親会社の所有者に帰属する四半期利益	52.4		73.3		+20.9	+40.1%	
四半期利益率	6.0%		7.9%				
非支配持分に帰属する四半期利益	2.0		2.6		+0.6		
為替レート (円)	USD (米ドル)	136.85	143.78				
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	140.83	156.24				
	AUD (豪ドル)	93.16	94.47				

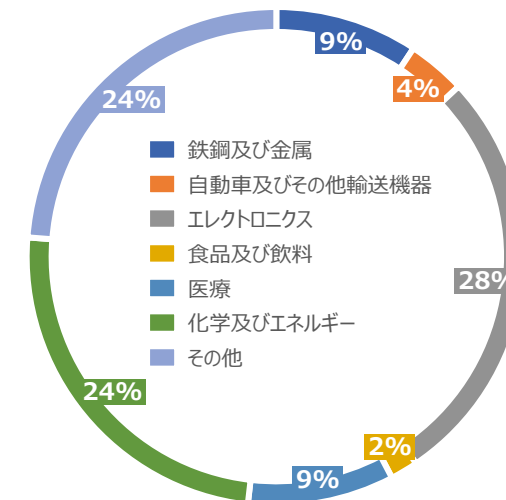


日本

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比		
	第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)	増減額	増減率	為替影響除き 増減率
売上収益	300.5	305.5	+5.0	+1.7%	+1.6%
セグメント利益	20.1	33.2	+13.1	+65.2%	+64.8%
セグメント利益率	6.7%	10.9%			
EBITDAマージン	11.5%	15.4%			

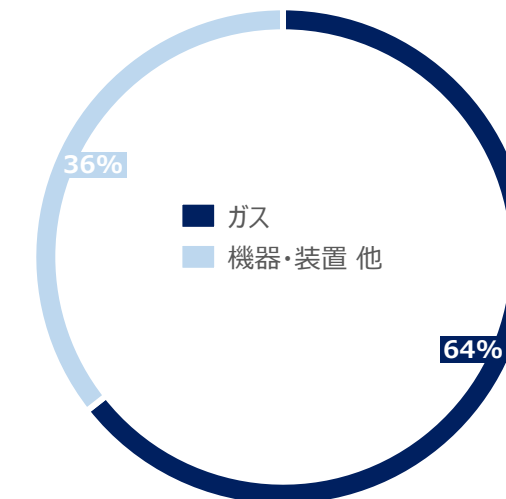
産業別売上収益

累計期間ベース



製品別売上収益

累計期間ベース

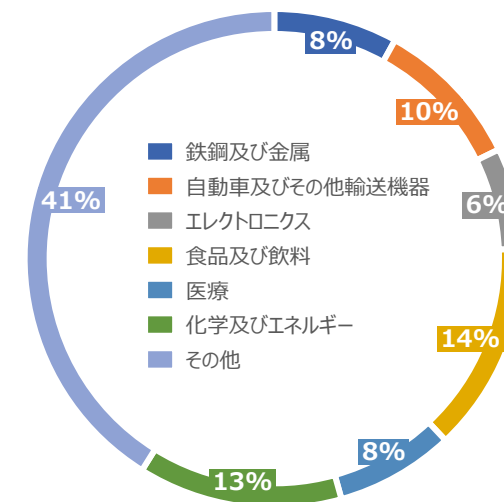


米国

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	増減額	前年同期比	
	第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)		増減率	為替影響除き 増減率
売上収益	223.6	257.1	+33.5	+15.0%	+9.5%
セグメント利益	26.0	35.8	+9.8	+37.5%	+30.6%
セグメント利益率	11.7%	13.9%			
EBITDAマージン	25.4%	26.5%			

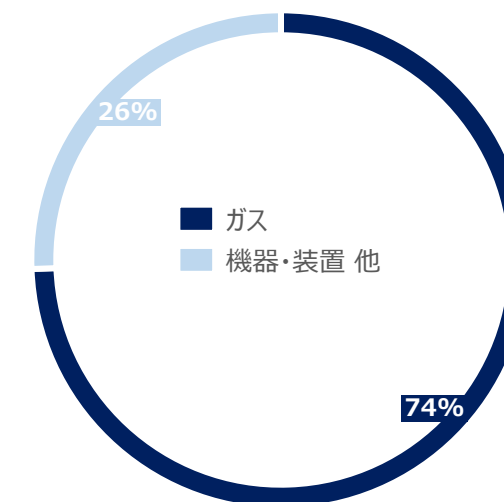
産業別売上収益

累計期間ベース



製品別売上収益

累計期間ベース

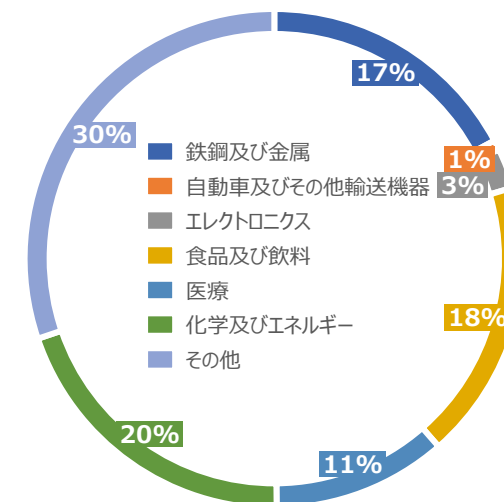


欧州

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比		
	第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)	増減額	増減率	為替影響除き 増減率
売上収益	203.3	223.1	+19.8	+9.8%	-1.1%
セグメント利益	25.3	39.6	+14.3	+56.1%	+40.4%
セグメント利益率	12.5%	17.8%			
EBITDAマージン	25.2%	30.5%			

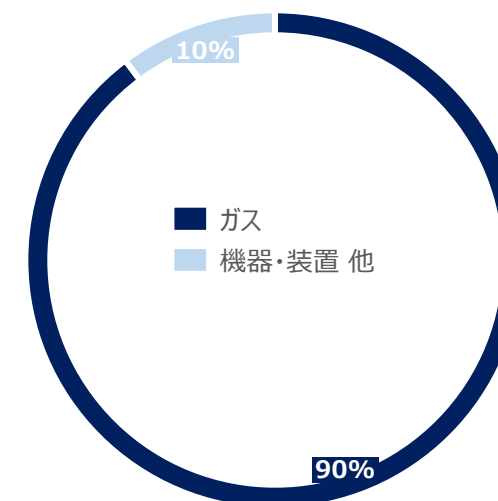
産業別売上収益

累計期間ベース



製品別売上収益

累計期間ベース

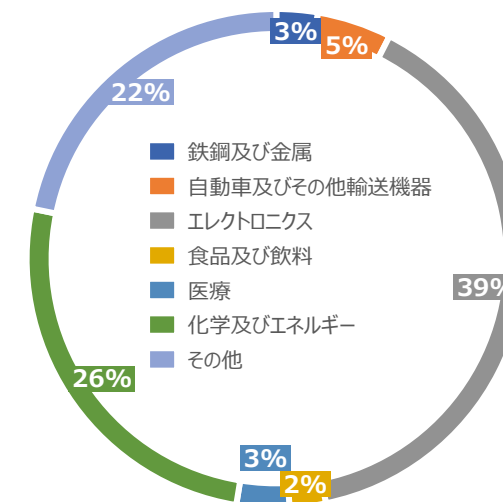


アジア・オセアニア

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比		
	第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)	増減額	増減率	為替影響除き 増減率
売上収益	122.8	119.5	-3.3	-2.7%	-6.1%
セグメント利益	12.3	12.6	+0.3	+2.8%	-0.0%
セグメント利益率	10.0%	10.6%			
EBITDAマージン	15.7%	16.9%			

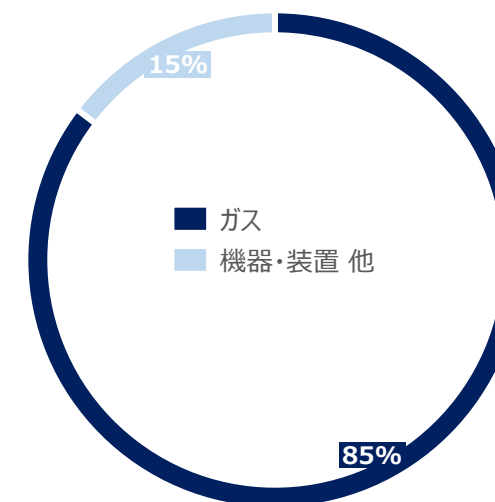
産業別売上収益

累計期間ベース



製品別売上収益

累計期間ベース

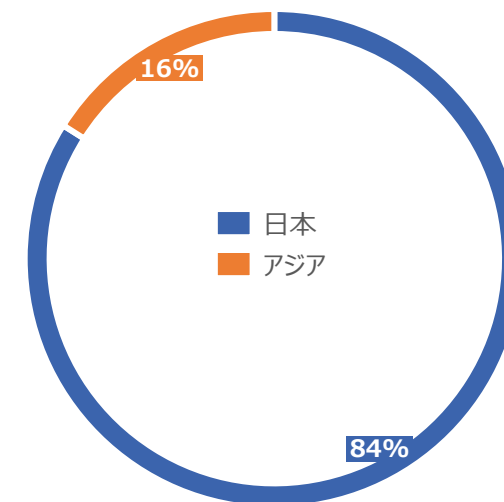


サーモス

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比		
	第3四半期 (4-12月期)	第3四半期 (4-12月期)	増減額	増減率	為替影響除き 増減率
売上収益	22.6	23.1	+0.5	+2.3%	+1.5%
セグメント利益	4.4	4.3	-0.1	-3.1%	-6.0%
セグメント利益率	19.8%	18.7%			
EBITDAマージン	24.6%	23.7%			

地域別売上収益

累計期間ベース



3. 2024年3月期 通期業績予想

業績概要

	2023年3月期	2024年3月期	前期比		為替影響除き 増減率
	通期	通期予想 <small>(2023年10月31日発表)</small>	増減額	増減率	
(単位：十億円)					
売上収益	1,186.6	1,230.0	+43.4	+3.7%	-0.1%
コア営業利益	123.1	155.0	+31.9	+25.9%	+20.4%
コア営業利益率	10.4%	12.6%			
非経常項目	-3.5	8.0	+11.5		
営業利益 (IFRS)	119.5	163.0	+43.5	+36.4%	
営業利益率	10.1%	13.3%			
EBITDAマージン	19.3%	21.6%			
金融損益	-14.0	-24.0	-10.0		
税引前利益	105.5	139.0	+33.5	+31.7%	
法人所得税	29.5	38.5	+9.0		
当期利益	75.9	100.5	+24.6	+32.3%	
(当期利益の帰属)					
親会社の所有者に帰属する当期利益	73.0	97.0	+24.0	+32.7%	
当期利益率	6.2%	7.9%			
非支配持分に帰属する当期利益	2.8	3.5	+0.7		
為替レート (円)	USD (米ドル)	136.00	142.61		
(期中平均レート)	EUR (ユーロ)	141.62	154.81		
	AUD (豪ドル)	92.67	93.44		

※2024年3月期（通期）における為替換算による影響額合計見込み：売上収益 +449億円 コア営業利益 +56億円

The Gas Professionals

質疑応答



代表取締役社長 CEO

濱田 敏彦



常務執行役員
財務・経理室長 兼 CFO

Alan Draper



常務執行役員
経営企画室長

諸石 努



常務執行役員
サステナビリティ統括室長
兼 CSO
(Chief Sustainability Officer)

三木 健



財務・経理室 IR部長

梶山 慶太



財務・経理室 経理部長

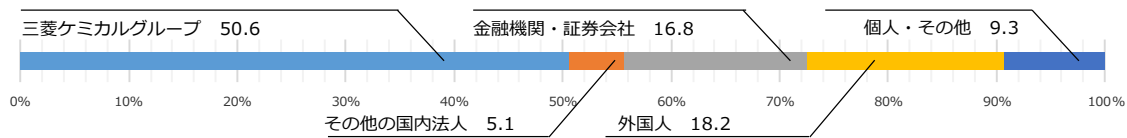
吉田 隆志

Appendix

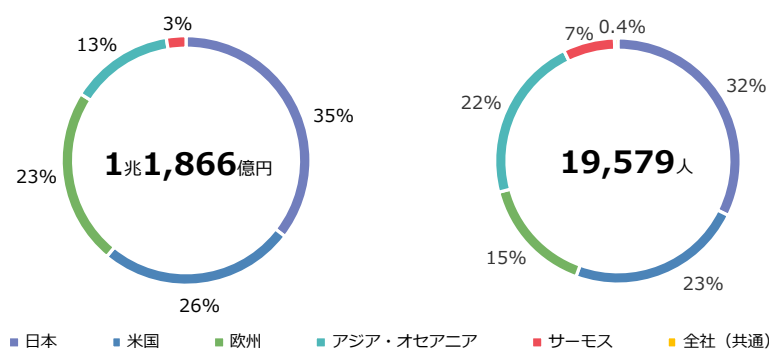
会社概要 (2023年3月31日現在)	
商号 (英文名称)	日本酸素ホールディングス株式会社 Nippon Sanso Holdings Corporation
設立	明治43年(1910年) 10月30日
本社所在地	東京都品川区小山1-3-26
電話番号	03-5788-8500 (代表)
代表者	代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦
資本金	373億44百万円

株式情報 (2023年9月30日現在)	
発行済み株式総数	433,092,837 株
株主数	13,269 人
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	4091.T

株式所有者別割合 (%)



セグメント別売上割合および連結従業員数構成比 (2023年3月31日現在)



企業理念

グループ理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.

The Gas Professionals

グループビジョン

私たちは、革新的なガスソリューションにより
社会に新たな価値を提供し、
あらゆる産業の発展に貢献すると共に、
人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。

We aim to create social value through innovative gas
solutions that increase industrial productivity,
enhance human well-being and
contribute to a more sustainable future.

主要事業

産業ガス事業



エレクトロニクス事業



サーモス事業



2024年3月期 業績予想 (IFRS)

売上収益	1兆2,300 億円	親会社の所有者に帰属する当期利益	970 億円
営業利益	1,630 億円	EPS (1株あたり当期利益)	224.09 円

概要

計画名称	NS Vision 2026
スローガン	Enabling the Future
設定期間	2022年4月から2026年3月までの4年間
発表日	2022年5月11日

財務目標

(当計画 最終事業年度：2026年3月期)

売上収益	9,750-10,000 億円
コア営業利益	1,250-1,350 億円
EBITDAマージン	グループ： 日本, 米国, 欧州, アジア・オセアニア, サーマス：≥24 % 日本, 米国, 欧州, アジア・オセアニア, サーマス：≥17-33%
調整後ネットD/Eレシオ	≤0.7 倍
ROCE after Tax	≥6 %

(備考) 為替換算レート(想定)：USD ¥115 EUR ¥125

非財務目標

<環境>

GHG排出量の削減率	2026年3月期：	18 %
(基準年度：2019年3月期)	2031年3月期：	32 %
環境貢献製商品によるGHG削減量	2026年3月期：環境貢献製商品によるGHG削減貢献量 > 当社グループのGHG排出量	

<保安>

休業災害度数率	2026年3月期：	≤1.6
---------	-----------	------

<コンプライアンス>

コンプライアンス研修受講率	2026年3月期：	100 %
---------------	-----------	-------

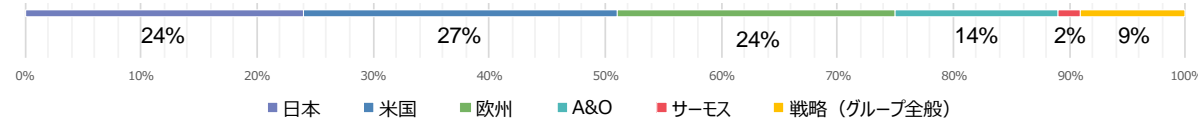
<人事>

女性従業員比率	2026年3月期：	≥22 %
	2031年3月期：	25 %
女性管理職比率	2026年3月期：	≥18 %
	2031年3月期：	22 %

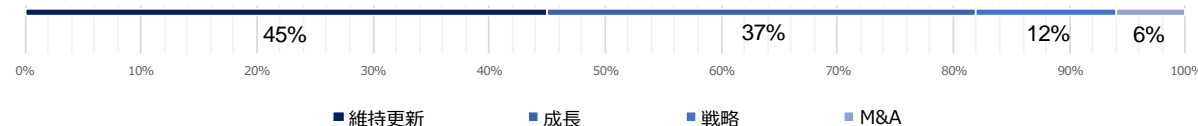
資本配分

キャッシュイン	(4年間合計)
[営業キャッシュ・フロー]	7,300 億円
キャッシュアウト	4,330 億円
[投資全般]	

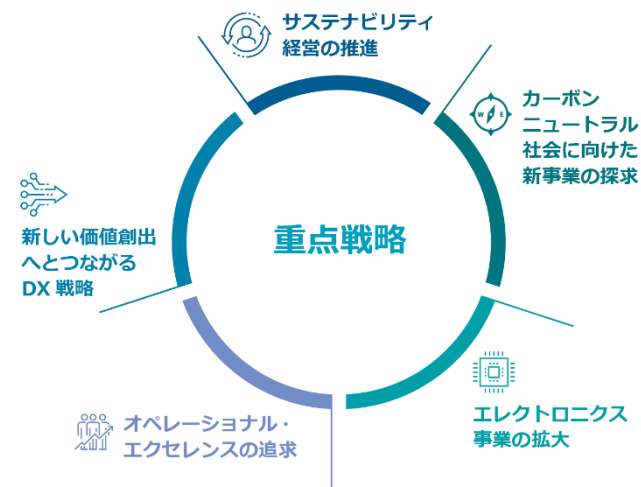
事業別構成比



目的別構成比



重点戦略



非経常項目

非経常項目とは構造改革費用（事業縮小・撤退、特別退職金）、災害や重大な事故による損失、その他（遊休資産の処理など）が該当します。当社は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出した数値をコア営業利益として表示しています。

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比
(単位：十億円)			
コア営業利益	87.5	124.7	+37.2
非経常項目	-3.1	-0.5	+2.6
営業利益 (IFRS)	84.3	124.2	+39.9

明細 (単位：十億円)

2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期	
項目	金額	項目	金額
賃貸設備関連争議の仲裁 (米国)	-3.5	事業撤退による減損損失 (アジア)	-0.5
海外土地売却益 (アジア・豪州)	0.5		
alfi事業再構築関連費用 (サーモス)	-0.3		
その他 (日本)	0.1		
合計	-3.1	合計	-0.5

重要経営指標

項目	単位	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2023年3月期 通期
基本的 1 株当たり当期利益	円	121.07	169.56	168.85
海外売上収益比率	%	64.0	65.6	63.0
ROE	%	—	—	10.8
ROCE	%	—	—	7.6
ROCE after Tax	%	—	—	5.4
1株当たり年間配当金	円	—	—	38
配当性向	%	—	—	22.5
設備投資及び投資	十億円	64.9	82.6	94.7
減価償却費および償却費	十億円	78.8	83.0	105.7
フリー・キャッシュ・フロー	十億円	44.2	47.4	89.8
調整後ネットD/Eレシオ	倍	0.89	0.73	0.81
有利子負債残高	十億円	954.2	1,036.2	941.7
純有利子負債残高	十億円	844.7	831.8	809.5

(ご参考) 重要経営指標項目 定義及び算定式

項目	定義
コア営業利益	営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目※）を除いて算出した数値を示します。 ※非経常項目とは、構造改革費用（事業縮小・撤退、特別退職金）、災害や重大な事故による損失、その他（遊休資産の処理など）が該当します。
有利子負債	財政状態計算書で表示している社債及び借入金に加えて、その他の金融負債に含まれているリース負債を加えた金額です。 ※ハイブリッドファイナンスを含みます
ハイブリッドファイナンス	負債でありながら、利息の任意繰延、超長期の返済期限、清算手続き及び倒産手続きにおける劣後性等の資本に類似した特徴を有しているファイナンス形態です。株式の希薄化を生じさせることなく、一定の条件を満たす場合に、格付機関から当該ファイナンスによる調達額の一定の割合に対して資本性の認定を受けることができます。
資本性負債	ハイブリッドファイナンスで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額です。 なお、当社の調達では格付機関より、調達額の50%に対して資本性の認定を受けています。
項目	算定式
EBITDAマージン	$(\text{コア営業利益} + \text{減価償却費及び償却費}) / \text{売上収益}$
ROE	$\text{親会社の所有者に帰属する当期利益} / \text{親会社の所有者に帰属する持分}^*$
ROCE	$\text{コア営業利益} / (\text{有利子負債} + \text{親会社の所有者に帰属する持分}) * [\text{使用資本}]$
ROCE after Tax	$\text{税引き後コア営業利益} (+ \text{受取配当金}) [\text{NOPAT}] ((\text{コア営業利益} - \text{コア営業利益に含まれる持分法による投資損益}) \times (1 - \text{実効税率}) + \text{コア営業利益に含まれる持分法による投資損益} + \text{受取配当金}) / (\text{有利子負債} + \text{親会社の所有者に帰属する持分}) * [\text{使用資本}]$
調整後ネットD/ELレシオ	$(\text{有利子負債} - \text{資本性負債}) - \text{現金及び現金同等物} / (\text{親会社の所有者に帰属する持分} + \text{資本性負債}) *$

* 前期及び当期の比較年度末の金額平均を用います

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：十億円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
	第3四半期	第3四半期	増減額	増減率
税引前利益	74.7	108.2	+33.5	+44.8%
減価償却費・償却費	78.8	83.0	+4.2	
運転資金増減	-36.0	-33.4	+2.6	
その他	-9.3	-26.7	-17.4	
営業活動によるキャッシュ・フロー	108.2	131.1	+22.9	+21.2%
設備投資	-62.1	-80.1	-18.0	
投融資	-2.7	-2.5	+0.2	
その他（資産売却等）	0.9	-1.0	-1.9	
投資活動によるキャッシュ・フロー	-63.9	-83.6	-19.7	+30.8%
フリー・キャッシュ・フロー	44.2	47.4	+3.2	+7.2%
財務活動によるキャッシュ・フロー	-28.8	19.6	+48.4	—

要約財政状態計算書

(単位：十億円)	2023年3月期 期末	2024年3月期 第3四半期末	比較 差異		2023年3月期 期末	2024年3月期 第3四半期末	比較 差異
現金及び現金同等物	132.2	204.3	+72.1	営業債務	128.1	117.9	-10.2
営業債権	243.5	260.0	+16.5	有利子負債	941.7	1,036.2	+94.5
棚卸資産	97.6	107.5	+9.9	その他	330.9	368.5	+37.6
その他	53.7	83.4	+29.7	負債 合計	1,400.9	1,522.6	+121.7
流動資産 合計	527.0	655.3	+128.3	資本金・剰余金等	626.5	671.8	+45.3
有形固定資産	776.1	822.4	+46.3	その他の資本の構成要素	97.7	167.0	+69.3
のれん	513.6	552.4	+38.8	親会社の所有者に帰属する持分	724.3	838.9	+114.6
無形資産	242.3	247.1	+4.8	非支配持分	33.6	30.6	-3.0
その他	99.7	114.8	+15.1	資本 合計	757.9	869.5	+111.6
非流動資産 合計	1,631.8	1,736.8	+105.0	負債・資本 合計	2,158.9	2,392.2	+233.3
資産 合計	2,158.9	2,392.2	+233.3				

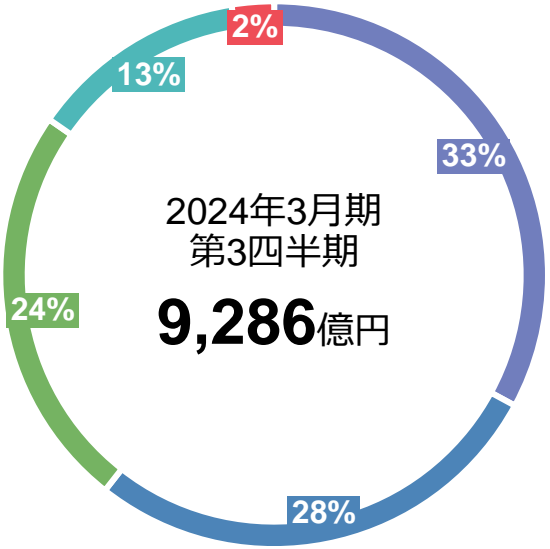
なお、資産合計、負債及び資本合計における、為替による影響については、前連結会計年度末に比べ期末日レートが米ドルで8円30銭の円安、ユーロで11円40銭の円安となるなど、約1,197億円多く表示されております。

業績概要 (セグメント別)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比		為替影響	為替影響除き 増減率
	第3四半期	(4-12月期)	第3四半期	構成比	増減額	増減率		
(単位：十億円)			(4-12月期)					
日本	売上収益	300.5	305.5	32.9%	+5.0	+1.7%	+0.1	+1.6%
	セグメント利益	20.1	33.2	26.7%	+13.1	+65.2%	+0.0	+64.8%
	セグメント利益率	6.7%	10.9%					
米国	売上収益	223.6	257.1	27.7%	+33.5	+15.0%	+11.3	+9.5%
	セグメント利益	26.0	35.8	28.8%	+9.8	+37.5%	+1.3	+30.6%
	セグメント利益率	11.7%	13.9%					
欧州	売上収益	203.3	223.1	24.0%	+19.8	+9.8%	+22.2	-1.1%
	セグメント利益	25.3	39.6	31.8%	+14.3	+56.1%	+2.8	+40.4%
	セグメント利益率	12.5%	17.8%					
アジア・オセアニア	売上収益	122.8	119.5	12.9%	-3.3	-2.7%	+4.3	-6.1%
	セグメント利益	12.3	12.6	10.2%	+0.3	+2.8%	+0.3	-0.0%
	セグメント利益率	10.0%	10.6%					
サーモス	売上収益	22.6	23.1	2.5%	+0.5	+2.3%	+0.1	+1.5%
	セグメント利益	4.4	4.3	3.5%	-0.1	-3.1%	+0.1	-6.0%
	セグメント利益率	19.8%	18.7%					
調整額	売上収益	0.0	0.0	0.0%	-0.0	—		—
	セグメント利益	-0.8	-1.0	-1.0%	-0.2	—		—
連結合計	売上収益	873.0	928.6	100.0%	+55.6	+6.4%	+38.2	+1.9%
	セグメント利益	87.5	124.7	100.0%	+37.2	+42.5%	+4.7	+35.1%
	コア営業利益率	10.0%	13.4%					

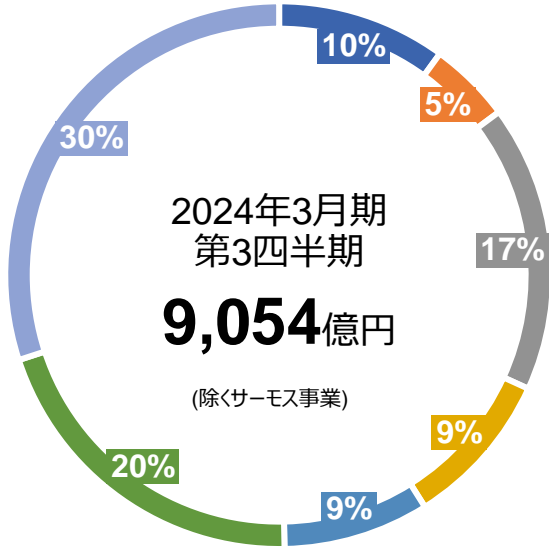
売上収益構成

セグメント別



■ 日本 ■ 米国 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア ■ サーモス

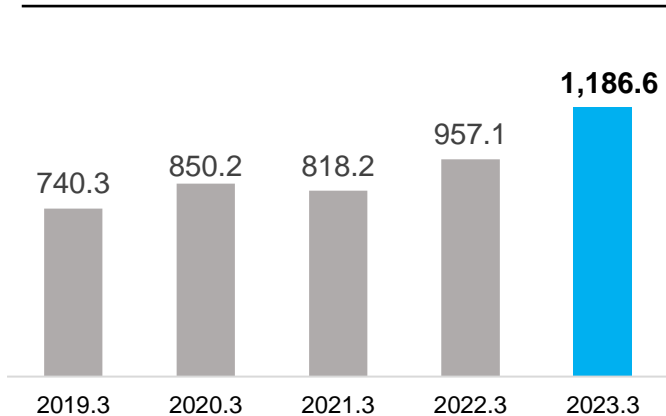
産業別



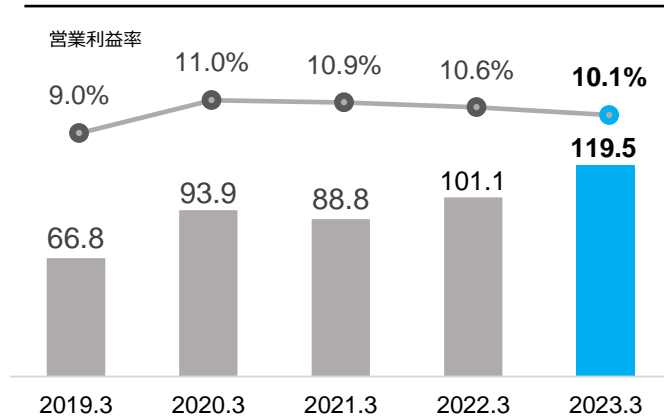
■ 鉄鋼及び金属 ■ 医療
 ■ 自動車及びその他輸送機器 ■ 化学及びエネルギー
 ■ エレクトロニクス ■ その他
 ■ 食品及び飲料

過去5か年の業績推移

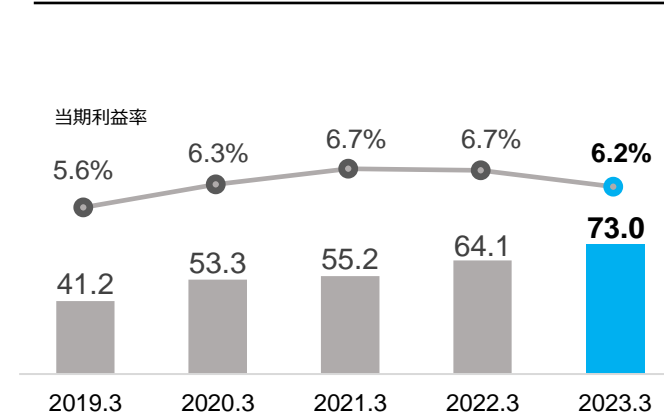
売上収益 (十億円)



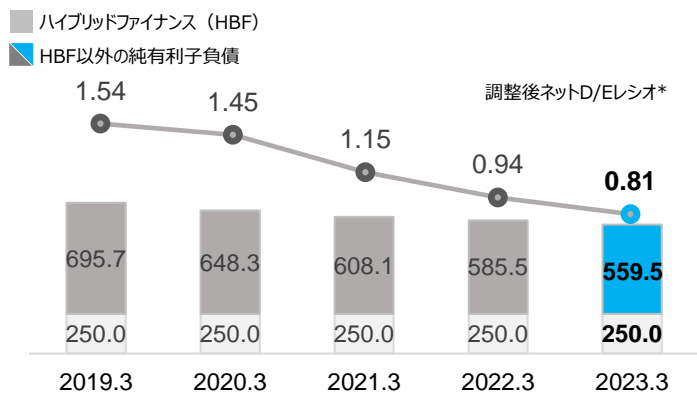
営業利益 (IFRS) (十億円)



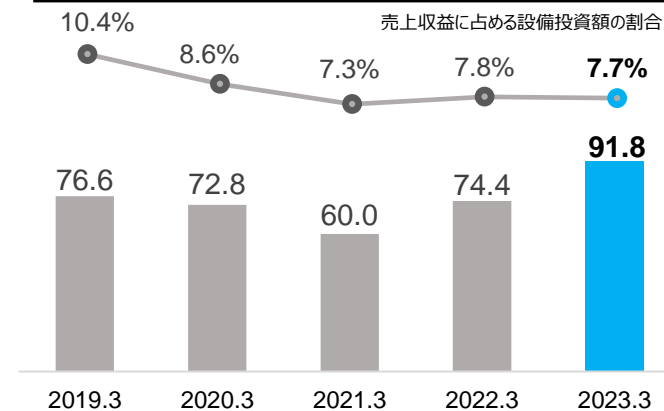
親会社の所有者に帰属する当期利益 (十億円)



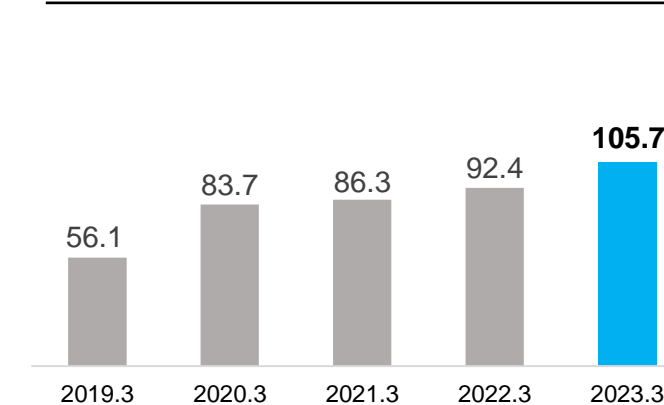
純有利子負債 (十億円)



設備投資額 (十億円)



減価償却額・償却費 (十億円)



*調整後ネットD/Eレシオ：格付機関により、HBFで調達した金額の50%を「資本」として認められていますので、この部分を考慮して算出した安全性（財務健全性）を示す指標です。

*2019年3月期までは工事ベースでの計上、2020年3月期以降は資金ベースでの計上です。

用語解説：EBITDAマージン／ROCE after Tax

EBITDA 利払い前・税引き前・減価償却前利益

(Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization)

M&Aや設備投資の影響を除いたキャッシュ・フローに基づく収益性の指標

本指標は、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替と捉えるべきものではありません。当指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較については、十分に考慮しなければなりません。

ROCE after Tax 税引き後使用資本利益率

(Return On Capital Employed after Tax)

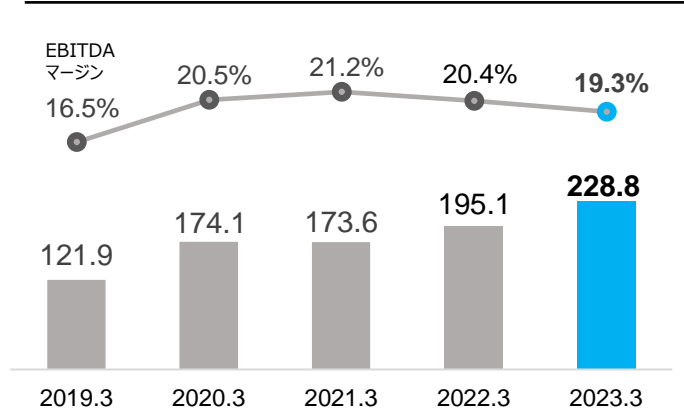
$$= \frac{\text{NOPAT(利息控除前 税引後営業利益:Net Operating Profit After Tax)}}{(\text{有利子負債} + \text{親会社の所有者に帰属する持分}) *}$$

* 前期及び当期の比較年度末の金額平均を用います。

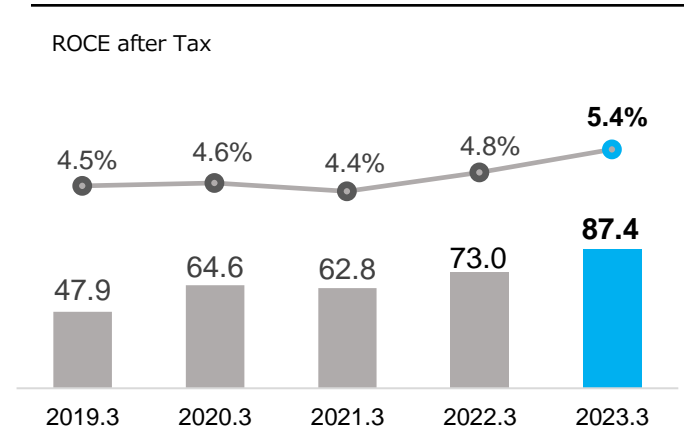
収益力や投資効率に基づく資本効率性の指標

本指標は、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替と捉えるべきものではありません。当指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較については、十分に考慮しなければなりません。

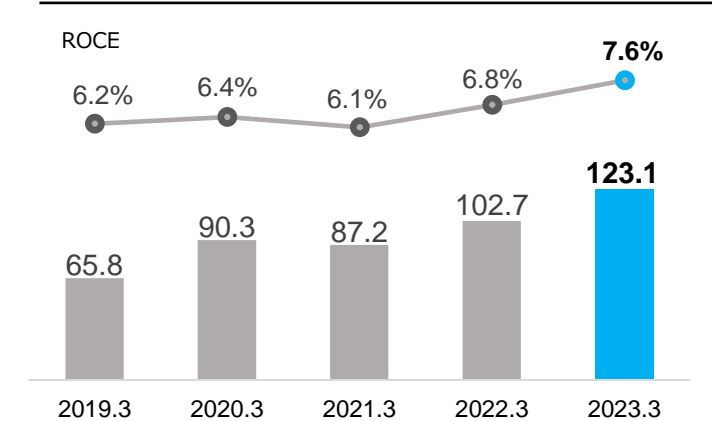
EBITDAマージン and EBITDA (十億円)



ROCE after Tax 及び NOPAT (十億円)

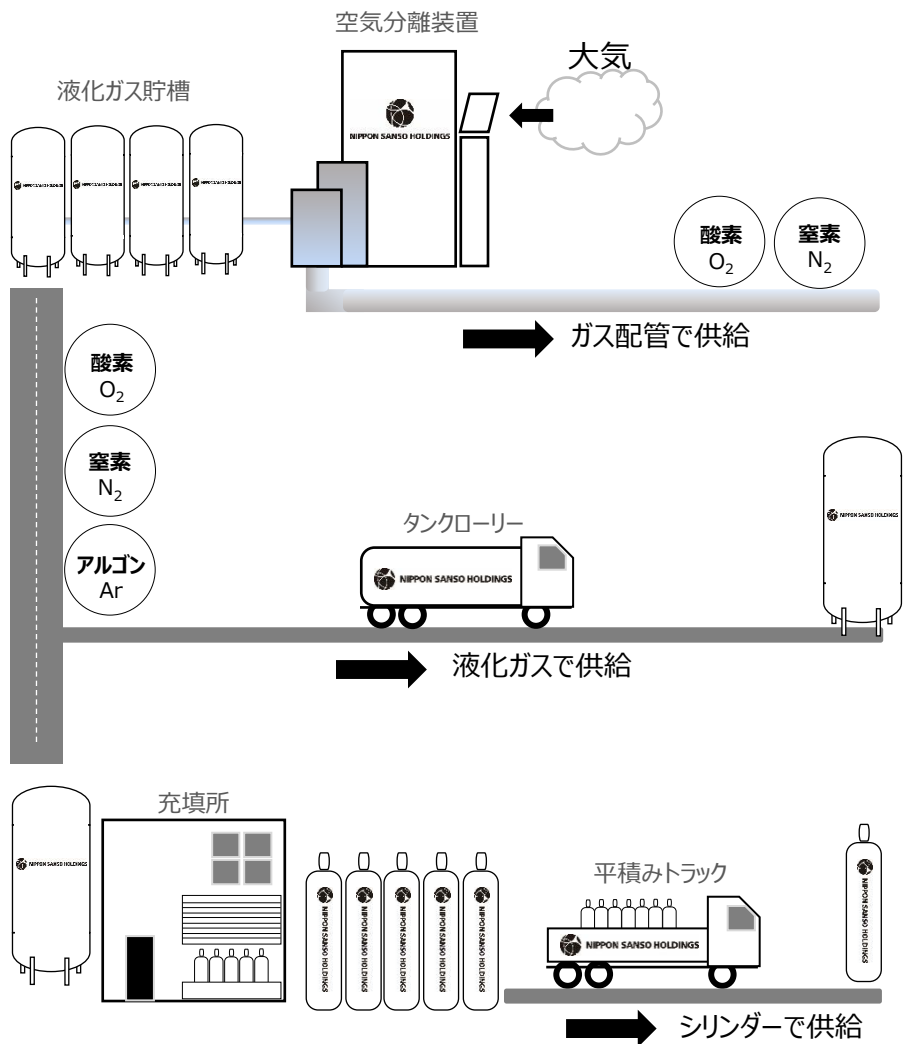


(Reference) ROCE 及びコア営業利益 (十億円)

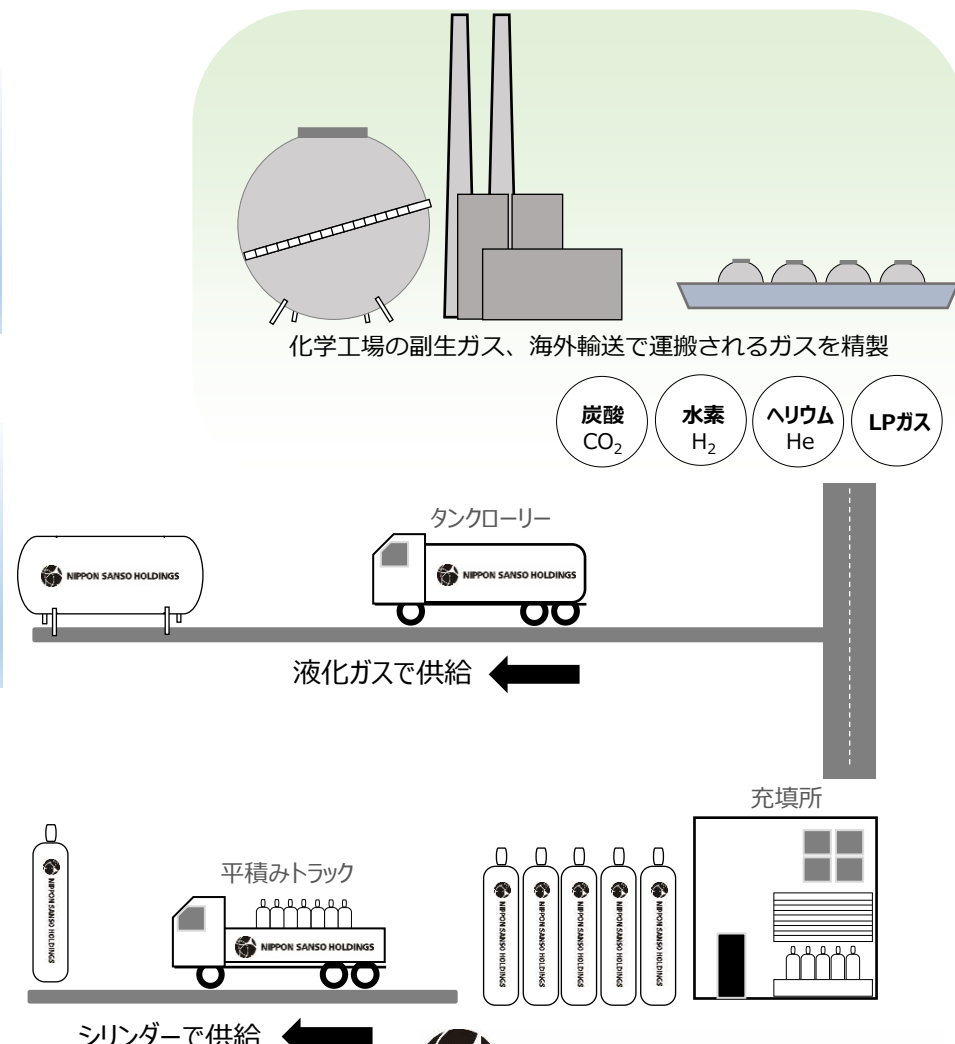


産業ガスの供給モデル

エアセパレートガス



その他のガス



オンサイト On-site

主要な供給先 (業種)

鉄鋼 石油化学 石油精製

客先の隣接地に生産工場を設置し、配管を直接繋いで、常時供給する形態 (大規模供給)

バルク Bulk

主要な供給先 (業種)

自動車 造船 ガラス・製紙
建設機械 製薬・医療 食品・飲料
液晶パネル 太陽光発電 半導体

客先構内に液化ガスの貯槽を設置し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (中規模供給)

パッケージ Packaged

主要な供給先 (業種)

在宅医療 先端医療 公衆衛生
技術開発 研究開発 建設工事

客先に充填容器 (シリンダー) を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (小規模供給)

THERMOS

おいしい温度。サーモス

届けてきたのは、毎日のうれしい気持ち。

真夏の午後に飲むスポーツドリンク

しんと冷える朝に飲むコーヒー

仕事でひと息ついた時に食べる、温かいお弁当。

100年以上もの間、届けてきたのは「おいしいね」のすてきな笑顔。

これからもずっと一緒に。



さらに詳しい情報は、こちらまでお問い合わせください。

報道関係者の皆さま

広報部

Tel : 03-5788-8513

E-mail : Nshd.info@nipponsanso-hd.co.jp

投資家・株主の皆さま

IR部

Tel : 03-5788-8512

E-mail : Nshd.ir@nipponsanso-hd.co.jp

今後の投資家向け開催予定イベント

2024年3月期 通期決算発表 2024年5月13日（月）

2024年3月期 通期決算説明会 2024年5月22日（水）

www.nipponsanso-hd.co.jp

日本酸素ホールディングス株式会社（証券コード：4091）

本社所在地：〒142-0062 東京都品川区小山1-3-26



NIPPON SANZO HOLDINGS

The Gas Professionals

© 2024 NIPPON SANZO Holdings Corporation All rights reserved